

# 党市議会議員 中村あさと



余談ですが、今年その入学者数は、約100名。その内、約半数が市内からの入学です。若者が県外へ出て行くのは、一定抑えられたようですが、まちなかの賑わいに繋がるかは、まだまだ不透明です。

先日、厚生委員会の視察で、今年の4月に雄湊小学校跡地に開校した東京医療保健大学、和歌山看護学部を訪ねました。現在、医療の水準が高くなり、また、複雑化する中でより専門性の高い人材の育成が求められています。そのため4年制の大学の必要性が高まっているそうです。多くの若者が希望を持って学んでいます。私たちも、こ

## 専門性の高い人材の育成へ

うした若者が安心して学び、将来に展望の持てる社会を作らなければと決意を新たにしました。また、国が押し進めている地域医療構想では、入院ベッド数が減らされようとしています。これでは、患者が必要な医療を受けられなくなる恐れがあります。

## 東京医療保健大学 和歌山看護学部の 訪問



医療系大学のいろんな部署も訪問しました

Relay toik  
Relay toik

# 県会議員 奥村のり子 の しん赤旗 読者ニュース

2018年12月23日 第340号



——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11  
☎&FAX 073-427-7121  
Eメール w-jcpen@naxnet.or.jp

## 12月定例会終わる 台風被害対策など決める

12月定例会が終わりました。議案は台風24号等による災害や農業被害対策、小型ロケット射撃建設支援、リハビリ系大学の施設整備支援など一般会計で総額58億円余要することや台風21号による和歌山下津港のガントリークレーンの撤去・更新など約12億円の計上についてです。また11の条例や指定管理者の指定に関する議案など42項目について審議しました。そのうち共産党県議団は知事や副知事(議員も含む)の期末手当支給割合の引き上げと市

町村負担金については反対し他は賛成しました。昨年度の決算の認定については雑賀団長が反対討論を行いました。県財政の投資的経費は全国平均15.5%に対して和歌山県は20.3%、民生費は全国平均16.3%に対して県は14.2%と下回っていることを指摘しました。福祉重視の県政になっていないことが決算でも明らかにになりました。みなさんの暮らしの願いを来年の予算に反映させるため、残りの時間、精一杯頑張るとともに次期再選に向けてパワー全開です。

(奥村のり子)

左記の「坂口ゼミ」とは  
安倍政権の横暴許さない！でも共産党はどんな社会を目指しているの？こんな疑問をみんなで話し合い、おしゃべりをしながら、時折の脱線もしますが、先月から開催しています。一度のぞいてみてください。  
12月26日 午後6時  
市駅前奥村生活相談所



質問する奥村です

## 法的根拠なく辺野古土砂投入 「寄り添う」どころか大暴挙

- OS子の週刊日誌(主なもの)
- 12月21日 市駅前・宇治交差点朝宣伝、予算要望提出、地域訪問、会議、懇親会
  - 22日 なんでも相談村、会議、パーム前宣伝、懇親会
  - 23日 会議、JR前宣伝、コンサート
  - 24日 地域訪問、ハンドマイク宣伝、懇親会
  - 25日 善明寺メカ計画予定地視察
  - 26日 生活相談、世話人会、庁内訪問、坂口ゼミ
  - 27日 市駅前事務所無料生活相談、健診、集会

アベ政権は沖縄の辺野古沿岸部への土砂投入を開始しました。そもそも埋め立ての法的根拠もないのです。新基地をめぐって8月に急逝した翁長雄志前知事の遺志を継ぎ辺野古沿岸部の埋め立て承認を撤回し、工事は法的根拠を失って止まっています。それを防衛省沖縄防衛局は行政不服審査法を悪用し、県の承認撤回に対する審査請求とその採決までの執行停止の申し立てを国交省に行い、その決定を受け沖縄防衛局は工事再開の暴挙です。行政不服審査法は国民の救済を目的とした法律であり、国の機関に適用されない事は明記されており、暴挙は違法・無効です。さらに2013年当時の仲井真弘多知事が埋め立て承認の条件に

した「留意事故」にさえ、「工事の実施設設計や環境保全は県と協議」とか、「土砂採取計画は知事の承認を受ける」さえ無視しています。法治国家ではありえない大暴挙を犯すのがアベ政権です。軟弱地盤の破壊や新基地完成には最低13年、2兆5500億円も要するなど県の指摘に反論もできない恥ずかしい首相です。口を開けば「沖縄に寄り添う」と言いますが、寄り添われた人は腹が立つでしょう。ですから世論調査を紹介します。14日の土砂投入直後の「読売」「毎日」「共同通信」の全国世論調査で土砂投入は「反対」「支持しない」が「賛成」「支持する」を大きく上回っています。「毎日」では「反対」が56%で「賛成」27%の2倍です。15日の日刊赤旗の見出し「美ら海壊し怒りの火に油」は

圧巻でした。(編集室)

